第6回 JMLA学術集会

The 6th Academic Meeting of the Japan Medical Library Association

プログラム・抄録

2022 年 12 月 9 日 (金) Zoom ウェビナーによるオンライン開催

特定非営利活動法人日本医学図書館協会主催

目次

第6回 JMLA 学術集会 受講にあたって・・・・・・・・・・	3
プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
【研究発表①~④】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
【CE コース】文献検索演習中級 2022	
医中誌 Web ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
PubMed	29

第6回 JMLA 学術集会 受講にあたって

【開催日時】

2022年12月9日(金)9:20~16:30(途中、昼休憩 12:00~1時間を予定)

- ·研 究 発 表 会 9:20~ (入場開始8:20~)
- · 文献検索演習中級 2022 13:00~ (入場開始 12:15~)

【プログラム】

JMLA ホームページまたは参加者専用ページに掲示してあります、「プログラム」をご参照ください。 https://jmla1927.org/doc/event/gakujutu/6th/6gakujutu_pro.pdf

【配布資料】

使用する資料は、メールにてお知らせいたしました参加者専用ページに掲載いたします。

同メールに記載された ID・パスワードでログインしていただき、事前にダウンロードしてご準備ください。

また、文献検索演習 2022 には事前課題もございますので、課題を済ませた上でご参加ください。

【受講方法と事前準備】

今年度の学術集会は Zoom ウェビナーシステムを用いて行います。

下記の手順に沿って、参加のご準備をお願いします。

①学術集会運営本部から送付されてくる事前登録案内より、学術集会への参加登録をする

学術集会運営本部より送られてきた事前登録案内メールに記載されている URL より、必要事項を入力の上、参加登録をおこなってください。登録が完了すると、学術集会当日の参加用 URL の案内が記載されたメールが自動返信にて送付されます。

自動返信が届かない場合は、学術集会運営本部までご連絡ください。

- ※参加用 URL は即時発行されますが、余裕をもって 11 月中にご登録ください。
- ※JMLA サイトの参加者専用ページとは異なります。
- ※参加登録画面にて、研究発表会の参加証明書、CE コース修了証書の発行希望を伺います。発行をご希望の方は必ず【必要】とご回答ください。

②視聴用 PC やタブレットを準備する

Zoom ウェビナーを視聴するにあたっては、パソコンやタブレットが必要です。 ご自身の環境にあった端末をお使いください。

③Zoom をインストール

事前に Zoom のインストールをお願いします。

下記 URL よりダウンロードいただき、インストールを行ってください。

https://zoom.us/download#client 4meeting

(すでにインストール済みの方はバージョンを確認いただき、必ず、最新版へのアップロードをお願いたします。バージョンによっては視聴ができなかったり、搭載機能が使えない場合があります。)

④案内に従って URL または ID・パスワードで入室

配布された 配信用 URL もしくは ID・パスワードで入室してください。

- ※Zoom の機能については、Zoom ホームページの他、別添の Zoom 簡易解説をご参照ください。
- ※入室までに長い時間を要する場合があります。研究発表は開始時間の1時間前、文献検索演習2022は45分前より入室が可能ですので、時間に余裕をもってご準備ください。

【受講にあたっての諸注意】

◎ビデオ・マイク機能について

Zoom ウェビナーシステムを用いての開催になるため、受講者のマイクとビデオ(カメラ)機能はご利用いただけません。

◎チャット機能について

進行や研究発表者・講師の音声や映像にトラブルがあった場合には、チャット機能より、送信先を<u>【ホ</u>ストとパネリスト】に設定して学術集会運営本部へご連絡ください。

一度退出いたしますと、再入室以降のチャット内容しかご覧いただけませんので、お気をつけください。

◎研究発表の質疑応答について

いただいた質問への回答時間は、全研究発表の終了後に設けております。質問の投稿は、次の発表が始まるまでにインターバルを設けますので、Zoom の Q&A 機能から必ず<u>頭に研究発表番号</u>を付けて送信してください。

寄せられた質問については、学術集会運営本部がまとめて研究発表者に代理で質問いたします。 時間の都合上、すべての質問には答えられない場合がありますので、ご了承ください。 ◎文献検索演習の質疑応答について

回答時間は各演習終了後に設けています。Zoom の Q&A 機能からご質問ください。 寄せられた質問は講師の方が選定し、直接ご回答いただきます。

◎Zoom ウェビナーの不具合について

受講者側による Zoom への接続や音声等の不具合は学術集会運営本部では対応できかねます。

Zoom のホームページ等をご確認いただき、対応をお願い致します

また、通信回線の不具合などにより<mark>途中退出・再入室</mark>を行った場合は、おおよその時刻をご記録いただき、 受講確認アンケートに設けられております回答欄より報告をお願いいたします。

(※各プログラム中の休憩中の一時退出・再入室については報告不要です)

【文献検索演習について】

文献検索演習中級 2022 では事前課題があります。課題内容は参加者ページに掲載されていますので、文献検索演習中級 2022 に参加される方は「医中誌 Web」「PubMed」の基礎編復習および演習問題に取り組んでいただくとともに「JMLA E-ラーニング文献検索講座」を必ず視聴し、内容をよく理解しておいてください(中級編では原則として基本的事項は説明しません)。

当日は、医中誌 Web と PubMed を利用して演習を行う時間があります。

演習時は Zoom の画面は開いたまま、ブラウザを立ち上げて、データベースに接続してください。

医中誌 Web:https://login.jamas.or.jp/

PubMed: https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/

【医中誌 Web】について

『医中誌 Web』は有料データベースです。

未契約の方は、参加者専用ページに記載の専用 ID とパスワードをご利用ください。

事前に上記サイトにログイン確認を行い、学術集会当日のほか、事前課題の際にご利用ください。

注意事項

- ・<u>文献検索演習目的以外の利用はできません。</u> (所属機関の業務には利用しないでください)
- ・所属機関の医中誌 Web 導入有無に関わらず、ご利用いただけます。

【受講確認アンケートについて】

学術集会の Zoom ウェビナーが終了すると、自動的にアンケートページのブラウザが表示されます。 こちらのアンケートは<mark>今回の研究発表・文献検索演習の受講確認も兼ねております</mark>ので、<u>必ず当日中にご</u> **回答**ください。

研究発表、文献検索演習中級 2022 のそれぞれの開催時間内に表示される「受講確認キーワード」の正答 も受講認定の必須条件となります。

回答がない場合、研究発表参加証明書・CE コース修了証書は発行できませんのでご注意ください。 回線不具合等によりアンケートページが表示されなかった場合は、学術集会運営本部までメールにてご 連絡ください。

第6回JMLA学術集会 プログラム

2022 年 12 月 9 日 (金) オンライン開催 (Zoom ウェビナー)

8:20 - 9:20 参加者オンライン入室開始

9:20 - 9:30 開会挨拶・オリエンテーション

9:30-11:05 【研究発表】各 20 分 (15 分+質問記入タイム),途中休憩 15 分あり

① COVID-19 に関する撤回論文の傾向 井上陽路(東京慈恵会医科大学学術情報センター)

② 公立図書館での医療・健康情報提供に関する調査 山下ユミ(京都府立図書館)、佐藤正惠(千葉県済生会習志野病院)、 三輪眞木子(放送大学)

(途中休憩・時間調整 15分)

- ③ 司書の労働環境における雑誌文献の調査 小林晴子(個人会員)
- ④ 個人向け文献検索相談の実施状況:事例報告佐山暁子(聖路加国際大学学術情報センター図書館)、佐藤晋巨(聖路加国際大学学術情報センター図書館)

11:05 - 11:45 質疑応答①~④ 40分

11:45 - 12:00 参加証明書配布についてのガイダンス(アンケート入力含む)

(休憩 60分)

12:15 - 参加者オンライン入室開始

13:00 - 13:05 オリエンテーション

13:05 - 14:35 【CE コース】 文献検索演習中級 2022「医中誌 Web」

講師:大崎 泉氏 (東京慈恵会医科大学学術情報センター)

(休憩 15分)

14:50 - 16:20 【CE コース】 文献検索演習中級 2022「PubMed」

講師:成田 ナツキ氏 (正会員個人)

16:20 - 16:30 閉会式・修了証書配布についてのガイダンス (アンケート入力含む)

【研究発表】

COVID-19 に関する撤回論文の傾向

東京慈恵会医科大学 学術情報センター 井上 陽路

【背景】未知のウイルス COVID-19 が発生し、世界中に感染が広がったことで、人々は多くの情報を早く手に入れたいと思うようになった。COVID-19 論文は、オープンアクセス化が推進され、査読前の論文であるプレプリントも PubMed に収載されている。

【目的】COVID-19 に関する撤回論文の傾向を把握し、COVID-19 によって学術情報にどのような影響があったのかを推測する。

【方法】PubMed 上で「(covid 19[MeSH Terms]) × (retracted publication[Publication Type])× (2020/01/01-2022/08/16[Date-Publication])」の検索式を用いて COVID-19 に関する撤回論文を抽出した。対象となった論文は 47 件であった。これらについて、掲載誌・著者数・著者の所属国・撤回の表示・撤回者・撤回理由・撤回日数・引用数・論文内容・研究タイプをまとめ、対象となる項目同士の相関を測定した。

【結果】本研究で得られた著者 203 人のうち、所属の多い国は中国(51人)、アメリカ(35人)、エジプト(16人)となった。撤回論文が掲載された 35 誌について、総論文数・COVID-19 論文数・撤回論文それぞれにおいて、強い正の相関がみられ、オープンアクセス誌(以下 0A 誌)の掲載論文数が多かった。インパクトファクター(以下IF)と引用数について相関を調べたところ、こちらは相関がみられなかった。著者の所属国と撤回理由について相関を求めたところ、強い相関がみられた。

【考察】総論文数やCOVID-19論文数の多い雑誌には、OA誌が多かったことから、OA誌は多くの論文を世間に公表しており、人々が情報を手に入れることに役立っていると考えられる。しかし、総論文数・COVID-19論文数が増えると撤回論文数も多くなる傾向にあり、得られた情報についても、再度吟味する必要がある。

また、IFの高い雑誌は社会的な評価の高い雑誌だと思い、引用数も多くなると考えたが、結果は異なっていた。これは、COVID-19 論文において、量と速さが求められたことで、査読が追い付かず、掲載論文の質が保証されなくなった結果かもしれない。COVID-19 は新たな学術情報の形態をもたらした。本研究で調査した内容を追求していくことで、新しい学術情報とのかかわり方を知ることにつながると思われる。

公立図書館での医療・健康情報提供に関する調査 山下ユミ¹⁾、佐藤正惠²⁾、三輪眞木子³⁾ 京都府立図書館¹⁾、千葉県済生会習志野病院²⁾、放送大学³⁾ JHIP (Distinguished) ¹⁾, JHIP (Basic) ²⁾

【背景】高齢化が進む日本において、地域包括ケアシステムが構築され、医療は病院完結型から地域完結型へと移行した。近年、公共図書館は市民の課題解決支援サービスに注力しており、医療・健康情報は重要なテーマである。中でも都道府県立図書館は、がん対策基本法に基づき、信頼できる医療・健康情報を提供できる体制を整え、市町村立図書館の医療・健康情報サービスをサポートすることが期待されている。

【目的】診療ガイドラインの所蔵状況に基づき、公共図書館が信頼できる医療情報を提供できているかを明らかにする。

【方法】過去5年間に図書として出版されたがん診療ガイドライン(総数16タイトル)のうち10タイトル以上を所蔵する都道府県立図書館19館を対象に、2022年8月~9月にアンケート調査を行い、18館から回答を得た(回収率95%)。質問項目は、1.健康医療情報に関するコーナーの設置 2.同サービスの利用対象者 3.コーナーの広報 4.健康医療情報パンフレット資料の収集・提供 5.医学分野のデータベース提供 6.診療ガイドラインの選書ツール 7.診療ガイドラインの利用対象者 8.診療ガイドラインの広報 9.医療健康情報の収集・提供に関する他機関連携について10.医療健康情報に関する過去3年以内の研修受講 の10点である。

【結果】「医療・健康情報に関連するコーナー設置」は 16 館(89%)、「闘病記文庫の設置」は 5 館(28%)だった。広報は、パスファインダー、ウェブサイト、図書リスト、展示、イベントなどの方法が多く行われていた。全ての館で医療・健康に関するパンフレットが提供されており、17 館(94%)で国立がん研究センターの「がんギフト」が提供されていた。医中誌 Web、JDreamIII、その他何らかの医学関連データベースを提供している回答は 11 館(61%)で、全く医学分野のデータベースを提供していないという回答も 7 館(39%)あった。診療ガイドラインについては、15 館(84%)が新刊案内をもとに選書を行っていた。診療ガイドラインの広報については、図書リスト、パスファインダーを使っているという館が各 6 館(33%)あったが、特に広報をしていないという回答が 7 館(39%)あった。「他機関との連携」については、がん診療拠点病院やがんセンターと回答した館が 11 館(61%)だった。医療健康情報に関する「過去 3 年以内の研修受講」については、日本医学図書館協会のコア研修に参加した館が 5 館(28%)あった。【考察】最新の診療ガイドラインを多数所蔵している公共図書館では医療健康情報に関するコーナーを設置しており、広報・医学関連のデータベース提供においても積極的に実施している。診療ガイドラインについての広報等については検討の余地がある。

司書の労働環境における雑誌文献の調査

小林晴子(日本医学図書館協会個人会員)JHIP、Basic

1 背景・目的

公共図書館では、正規職員が減少し非正規職員が増加している。大学図書館においても正規職員が減少し業務委託化が進んでおり、新規司書の採用は少ない。このような背景において、医学図書館の人材の確保も重要な課題であると考えている。

本発表は、2022 年度日本医学図書館協会の研究助成による調査・研究「日本医学図書館協会会員機関及び個人会員の司書の労働環境について」の一部を報告するもので、公共図書館と大学図書館における司書の労働環境について雑誌文献の調査を行う。

2 方法

CiNii Articles を用いて、労働環境について「図書館 and 労働」、「図書館 and 雇用」、「図書館 and 非正規」のキーワードで検索し、雑誌における文献タイトルを対象に計量テキスト分析 KH Coder を用いて階層的クラスター分析を行い、複数のグループに分類する。分類したグループをもとに調査し、考察する。

3 結果・考察

雑誌文献における労働環境に関する議論は5つのグループに分類することができた。A グループは労働問題の組合運動・闘争、B グループは東京23区の公共図書館における組合活動等、C グループは公共図書館における会計年度任用職員、D グループは公立図書館における指定管理者制度、E グループは、図書館における労働の課題是全般がまとめられており、女性・非正規・専門職・女性司書の地位、非正規雇用におけるメンタルヘルス、図書館サービスと労働条件とに細分化される。

B, C, D のグループは公共図書館の課題であると考えられる。A は個別に文献を把握すると公共図書館に関するのみしかなかった。E グループは公共図書館と大学図書館共通の課題に関するグループだと考えられる。医学図書館においては雑誌文献調査からは十分な把握ができなかった。今後は、図書における議論を追加し、医学図書館でのアンケートによる詳細な実態調査を予定している。

個人向け文献検索相談の実施状況:事例報告

佐山暁子,佐藤晋巨 聖路加国際大学学術情報センター図書館

<背景> 本学では、2004年より個人を対象とした「文献検索相談」を行っている。このサービスでは、利用者からの申込みを受けて主にデータベースによる文献検索を中心とした個々の課題に適した支援をしている。これまでの利用者対象のアンケート調査から、利用者満足度は比較的高いが、【日程調整】申込みから相談までの期間が長くなること、【申込手続き】相談までの手続きがやや煩雑であること、【認知度】サービスの認知度の3つが課題であることがわかっている。また、2020年度以降、新型コロナの影響で相談は原則オンラインで実施しており、学生の行動もまた大きく変化している。

<目的> 現在の相談内容を記録し分析することで、文献検索相談の現状を把握する。それにより、課題の解決策を見出したいと考えている。

<方法】 担当者が、相談終了時に記録をとった(記録事項:所属、相談回数、所要時間、申込方法、テーマ、検索の目的、使用ツール、事前情報、相談内容)。調査期間は2022/8/26-10/31とした。

<結果> 相談件数は47件で、相談時間平均は約52分であった。学部生、院生、教員、病院職員の利用があり、なかでも学位論文提出に向けて学部4年生、修士課程院生の利用が多かった。扱った内容は頻度順に以下の通りであった【①検索の実行 ②統制語 ③絞込み ④検索語バリエーション ⑤検索結果エクスポート】。初回と、2回目以降の相談には内容の傾向に違いがみられるため、分けて分析した。共通内容は、検索の実行、検索の基本、絞込み、エクスポート、式の保存などであった。一方、相違点としては、初回はブール演算子(AND, OR)、結果画面の見方、2回目以降は別データベースへの式変換、NOT検索などであった。

<考察> 課題としてあがっている3点のうち、今回は【日程調整】について主に考察する。相談内容を共通点と相違点に分けて分析し、授業やガイダンスに活用することで、学生が自己解決できることが増加し、より必要な人に相談機会を届けたり、申込から相談までの期間を短縮できることが考えられる。また、頻度が高くなかった内容項目については、個別相談の要素としては重要であり、担当者のブラッシュアップなどで向上の余地がある。

【CE コース】文献検索演習中級 2022

医中誌 Web

文献検索演習中級 2022 医中誌Web

東京慈恵会医科大学学術情報センター iosaki@jikei.ac.jp

本日のプログラム

事前課題: 医中誌Web (基礎編)復習(済)



演習問題1-2

- 1. シソーラスを使った検索
- 2. エビデンスの検索
- 3. 医中誌webの便利な機能-My医中誌
- 4. まとめ

1. シソーラスを使った検索

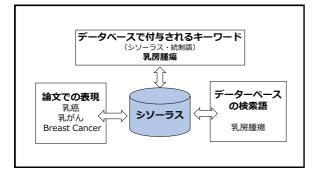


(1) シソーラスとは

-(1)シソーラスとは、同義語・類義語をまとめ、語句間の 上位・下位概念の関係を定義し体系化した辞書。

(わかりやすい医中誌Web検索ガイドより)

- (2) データベースごとにシソーラスを作成していることも多い。
- ・医中誌Web →「医学用語シソーラス」 ※MeSHに準拠
- PubMed (Medline) → 「MeSH」
- · EMBASE → 「EMTREE」
- (3) 「医学用語シソーラス」は第9版が最新版でWebで無料公開 https://www.jamas.or.jp/service/thesaurus_list/9.html



(2)医学用語シソーラスの構成①カテゴリー

A:解剖学 B:生物 C:疾患

D:化学物質および薬物 E:分析、診断、治療の技術と機器 F:精神医学および心理学 G:現象と過程

H:学問分野と専門分野

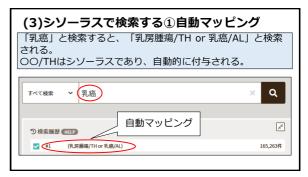
I:人類学、教育、社会学、社会現象 J:工業技術、産業、農業

K:人文科学 L:情報科学 M:人間集団

N:保健医療サービス

Z:地理的位置

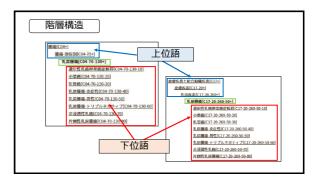






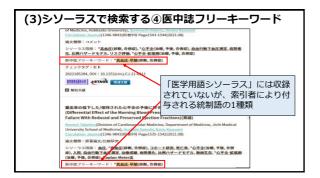








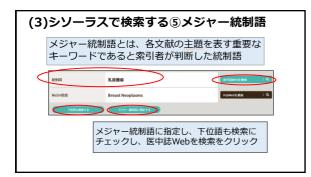


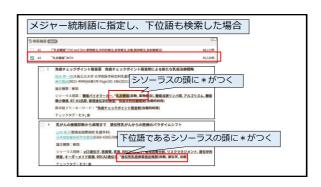


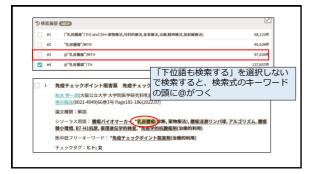


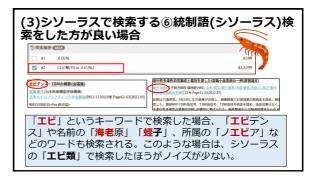












「小児」を検索した場合、シソーラスにマッピングされるが、所属や雑誌名などに「小児」と入っている文献も検索される。検索結果にノイズが多い時は、シソーラスやチェックタグで検索したほうが良い場合がある。

② #5 (今級THE 中央以底)

③ #5 (今級THE 中央以底)

③ #5 (今級THE 中央以底)

③ #5 (中級THE 中級工程)

③ #5 (中級工程)

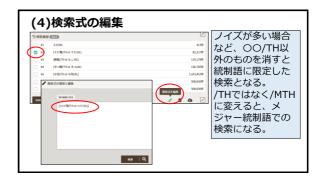
③ *5 (中級工程)

⑤ *5 (中級工程)

⑥ *5 (中級工程)

⑤ *5 (中級工程)

⑥ *5 (中級工程)



2. エビデンスの検索



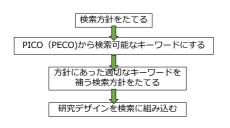
EBMの4つのStep

57

Step1 問題の定式化 Step2 情報収集 Step3 批判的吟味 Step4 患者への適用

Step5 Step1~4のフィードバック

エビデンスの検索手順



(1) 検索方針をたてる

知りたいことは何なのか?「カテゴリー」に分類する。

- ・治療(ある治療方法の効果)
- ・診断(ある診断法の診断能力)
- ・病因、リスク(ある疾患の原因やリスク)
- ・予後(ある疾患の発症率や生存率)

※疑問をカテゴリー分けすることによって、キーワード が選びやすくなる。

(2) 定式化する

P : Patient 患者

どんな患者が

I (E): Intervention (Exposure) 介入(暴露)

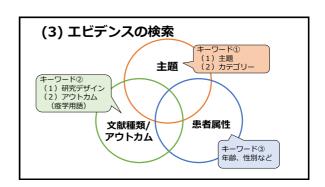
治療A (検査A) をするのは

C : Comparison 比較対照

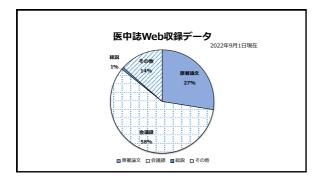
治療B(検査B)と比べて

O : Outcome アウトカム

どんな結果になるか



研究デザイン	メタアナリシス	ランダム化比較試験	準ランダム化比較試験	デザイン	診療ガイドライン
タグ付与年	1999年~	1983年~	1983年~	2003年~	1999年~
件数 (2022年9月16日現在)	2,617件	25,595件	3,947件	194,278件	2,924件
解說	クエスチョンについて、関連 する研究を、網羅的に収集 し、批判的吟味をし、統計学	制付けを用いて、へをスクテ の介入 (集物) - 予報、検査、 電流、検討、 官僚、 サービス 明) を行う器と比較が解析に 振分け、その有効性や安全性 などの評価を行う臨床延順	アの介入 (薬物、手術、検 査、看護、検診、教育、サー ビス等)を行う群と比較対照 群に振分け、その有効性や安	議・治療など)において、と を対象として財政的を 行っている研究、ただし、以 下の支献に掛かる。 - ランダム化比較試験の文献 ボースターの文学を ・ 第ランダム化比較試験の文献 就	原する目的で、日本において、 また文章。(個人や一般) された文章。(個人や一般) を形成したガイドラインは1 を収算:「特定の趣味状況 おいて、遊りなり間を行う方 めに、原本版と参考を支援 大変書」(採開 Institute of Medicine, 1990)



練習問題

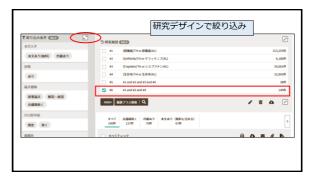
シスプラチンによる抗がん剤治療中の 肺腫瘍の女性(70歳、喫煙歴なし)に、 分子標的治療薬ゲフィチニブによる治療 を検討したい。

カテゴリー: 治療



	Р	疾患・リスクのある人	肺腫瘍 (の女性)
	I	治療A	ゲフィチニブ (による治療)
	С	治療B (もしくはなし)	シスプラチン (による治療)
	0	生存率・発症率 はどうか	生存率(が高い)
. '			

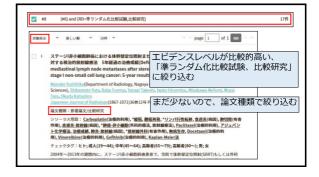
















演習問題1

青汁が肝機能障害の原因となるか。

カテゴリー:

















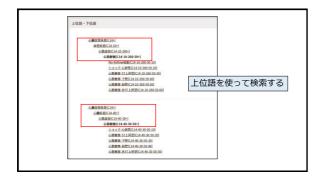
卵をたべることによって心筋梗塞のリス クは上がるか?

カテゴリー:







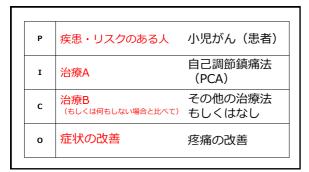






小児がん患者に自己調節鎮痛法 (PCA) は有効か?

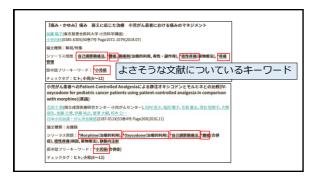
カテゴリー: 治療







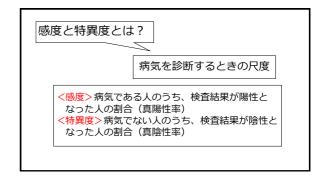




超音波検査は乳癌検出手段として勧められるか?

カテゴリー: 診断

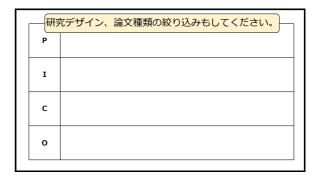
P 疑わしい疾患 乳癌 I 診断法A 超音波検査 c 診断法B (もしくは何もしない場合と比べて) その他のもの もしくはなし	Г	研究デザイン、論文種類の絞り込みもしてください。			
診断法B その他のもの		Р	疑わしい疾患	乳癌	
CURINA		I	診断法A	超音波検査	
		С			
ο 有効かどうか 感度と特異度		0	有効かどうか	感度と特異度	



演習問題5

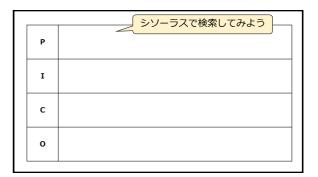
<演習当日に出します!>

カテゴリー:



<演習当日に出します!>

カテゴリー:



















4. まとめ



(1) シソーラスの活用

シソーラスを上手に活用する。

(2) エビデンスの検索

検索方針をたて、定式化(PICOまたはPECO)する。 疑問をカテゴリーに分類する。 研究デザインタグの設定年、論文種類について 知っておく。

(3) 検索結果が多い時、少ない時 ①検索結果が多い時

◎結果の絞り込み

- 1. キーワードの追加
- 2. 年齢・性別の指定
- 3. 検索年代の限定
- 4. データの種類の限定
- 5. 使用言語の指定
- 6. その他(フィールド、重みづけなど)

(3) 検索結果が多い時、少ない時 ②検索結果が少ない時

◎検索結果の拡大

- 1. キーワードの変更 (組み合わせ方の変更)
- 2. 検索年代の拡大
- 3. データベースの変更
- 4. その他 (参考文献、関連文献)

参考文献

- 1. 諏訪部直子、平紀子. わかりやすい 医中誌Web検索ガイド: 検索事例付.日本医学図書館協会, 2013.
- 2. 医中誌Web HELP. https://help.jamas.or.jp/houjin/index.html

- https://help.jamas.or.jp/personal/
 3. 特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会ホームページ https://www.jamas.or.jp/
- 4. The SPELL http://spell.umin.jp/

ご清聴ありがとうございました

【CE コース】文献検索演習中級 2022

PubMed

文献検索演習中級 2022

PubMed



日本医学図書館協会 診療ガイドラインWG 埼玉石心会病院図書室 成田 ナツキ 2022年12月9日(金) Zoomによるオンライン開催

演習に使用するツール等

事前に準備しておくと、演習時に慌てずに済みます。

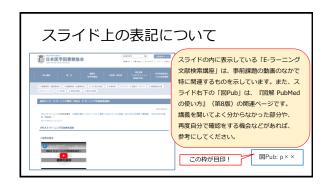
- PubMed
- ・医中誌Web(シソーラスブラウザ)
- ライフサイエンス辞書
- MeSH Database
- MeSH Browser
- ・・・その他自分で使用したいもの

文献検索講習会・内容基準

- ・基礎編(ベーシック) ※E-ラーニング、事前課題 文献検索の基本的な操作と仕組みに関する知識を習得する
- ・中級編(アドバンスト)

シソーラスや付加的機能を使ってさらに的確な検索ができる。 EBM支援のための検索方法を理解する。

> JMLAコア研修・学術集会・CEコース等 http://jmla1927.org/core.php



本日の主な内容

- 1. MeSHについて
- 2. MeSHの探し方
- 3. EBMの流れの中の文献検索(MeSHを使った検索)
- 4. 検索式の立て方(まとめ)
- 5. 問題演習

1. MeSHについて



(1) MeSHとは

E-ラーニング文献検索講座 ② シソーラスと検索

- ・Medical Subject Headingsの略
- ・NLM (米国国立医学図書館) が作成する シソーラス
- ・MEDLINEデータベースのシソーラスには MeSHが使用されている

図Pub: p62-63

MeSHの構成

- Headings
- Subheadings
- · Supplementary Concept Records
- Publication Characteristics (or Types)

主標目(Headings)

- · "main headings", "descriptors" と表現されることもある
- ・文献の主題を表す

主 題 : [MeSH]

中心的主題: [Majr] *で表示される

MeSH Headings-カテゴリ

A. Anatomy

B. Organisms C. Diseases

D. Chemical and Drugs E. Analytical, Diagnostic and Therapeutic L. Information Science Techniques and Equipment

F. Psychiatry and Psychology

G. Phenomena and Processes

H. Disciplines and Occupations

I. Anthropology, Education, Sociology and Social Phenomena

J. Technology, Industry, Agriculture

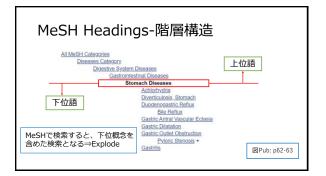
K. Humanities

M. Named Groups

N. Health Care

V. Publication Characteristics

Z. Geographic Locations



副標目(Subheadings)

- ・主標目付けられ、特定の観点を示す
- ・主標目により付与できる副標目は異なる
- ・階層構造を持つ
- ・主標目の後に続けて表現される

"Lung Neoplasms/drug therapy"[Mesh]

⊠Pub: p63

補足語(Supplementary Concept Records)

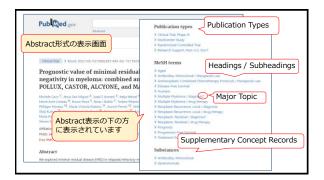
- ・主に化学物質の用語。いくつかのプロトコルや 希少疾患も含まれている
- Abstract形式では「Substances」の項目に 記載される
- ・フィールドタグは[NM]

図Pub: p7

Publication Types

- ・出版物のタイプ(フォーマット)又は研究の 特徴(研究デザイン)を表す。
- ・論文の主題ではなく、論文の構成要素や 形式を表す。
- ・フィールドタグは[PT]

図Pub: p7, 巻末



2. MeSHの探し方

- 1. MeSHについて
- 2. MeSHの探し方
- 3. EBMの流れの中の文献検索(MeSHを使った検索)
- 4. 検索式の立て方(まとめ)
- 5. 問題演習

MeSHの探し方

- (1)医中誌Webを利用する
 - ※ ライフサイエンス辞書 (LSD)を利用する
- (2) MeSH Databaseを利用する
- (3) MeSH Browserを利用する
- (4) PubMedを利用する

 \cdots etc

実習 1): MeSH用語の検索

・非浸潤性乳管癌のMeSH用語を調べる

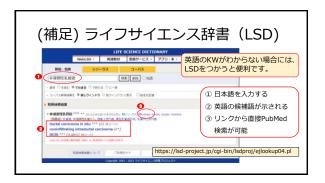








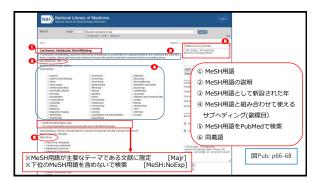




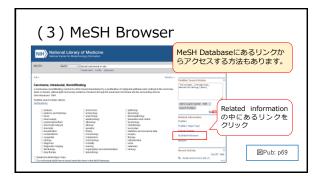






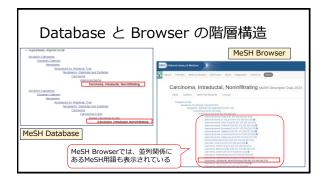




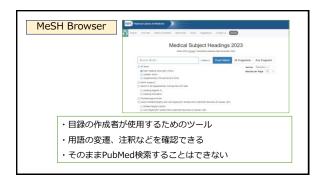


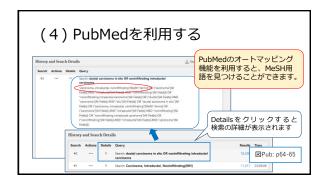








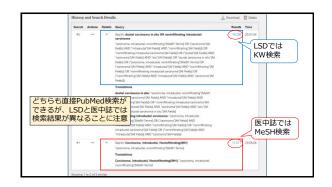




MeSHの探し方

- (1) 医中誌Webを利用する
 - ※ ライフサイエンス辞書 (LSD)を利用する
- (2) MeSH Databaseを利用する
- (3) MeSH Browserを利用する
- (4) PubMedを利用する (⇒演習中に説明?)

 $\cdot \cdot \cdot$ etc



MeSH を使った検索

強いところ

同義語をカバー

統一されたキーワードを使用しているため、網羅的な検索ができる

関連語の組織化

階層構造により、上位⇔下位の概念から検索語を選ぶことができる

・用語の意味 (範囲) の特定

より的確な検索が可能となる

MeSH を使った検索

弱いところ

- ・索引が付される前の新しい情報は検索できない
- ・MeSHの改訂は毎年行われるが、新しい概念には対応がおく れることもある
- ・新しい概念や最新の情報が重要である場合には、[MeSH]と ともに[TIAB]なども併用するなどの工夫が必要

3. EBMの流れの中の文献検索

- 1. MeSHについて
- 2. MeSHの探し方
- 3. EBMの流れの中の文献検索 (MeSHを使った検索)
- 4. 検索式の立て方(まとめ)
- 5. 問題演習

EBMの4つのステップ

50

E-ラーニング文献検索講座 ③ エビデンスの検索

Step1: 情報の定式化

Step2: 情報収集(情報検索) ※MeSHによる検索

Step3: 情報の批判的吟味

Step4: 患者への適用

Step5: Step1~4のフィードバック

(1) 検索の流れ

- ア) 疑問の内容を理解し、検索方針を立てる
- イ) PICOを利用して疑問を整理する
- ウ) キーワードをMeSHに置き換える
- 工)検索を実施し、結果を評価する
- オ) 検索語/検索式の再考・絞り込み条件等の検討

実習 2):

シスプラチンによる抗がん剤治療中の 肺腫瘍の女性(70歳、喫煙歴なし)に、 分子標的薬ゲフィチニブによる治療を 検討したい

① 疑問の内容を理解する

- ・どのような疑問なのか (疑問のカテゴリは?) ⇒ (
- ・わからない言葉や疑問の背景などを調べる
 - ⇒標準的な治療方法は? 抗がん剤治療については?

② PICOを利用して疑問を整理する

	疑問の整理	MeSH
Р		
I		
С		
0		

③ キーワードをMeSHに置きかえる

	疑問の整理	MeSH
Р	肺腫瘍の女性	
I	ゲフィチニブによる治療	
С	シスプラチンによる治療	
0	生存率が高い	





検索のヒント2

・Subheading(副標目)を使う⇒MeSH用語をより限定する組み合わせの利用も効果的

図Pub: p63

Subheadingの組み合わせ例

- •疾患の薬物療法
- 疾患/drug therapy × 治療薬/therapeutic use
- ・合併症の前後関係 先の疾患/complications × 後の疾患/etiology
- •薬物の副作用
 - 疾患/chemically induced × 薬物/adverse effects
- 腫瘍の転移原発の腫瘍 × 転移
 - 原発の腫瘍 × 転移性の腫瘍/secondary

⑤ 検索語等の再検討

P I C O		MeSH	
	Р		
	I		
0	С		
	0		



検索のヒント3

E-ラーニング文献検索講座 ③ エビデンスの検索

・Publication Typeを使う

⇒疑問のカテゴリに応じた信頼性 の高い研究デザインを使う

図Pub: p54-55

復習)

・どのような疑問なのか (疑問のカテゴリは?)⇒()

カテゴリー	信頼性の高い研究デザイン





4. 検索式の立て方

- 1. MeSHについて
- 2. MeSHの探し方
- 3. EBMの流れの中の文献検索(MeSHを使った検索)
- 4. 検索式の立て方(まとめ)
- 5. 問題演習

検索式の立て方(まとめ)

網羅的な検索

- ・MeSH用語の上位語を使用する(Explode)
- ・同義語、関連語等を追加する
- ・検索対象年を広げる(限定した場合)

⇒検索漏れを少なく、網羅的に検索

(再現率は高いがノイズが多くなる可能性がある)

検索式の立て方(まとめ)

関連性の高い検索

- ・MeSH用語の下位語を使用する
- ・中心的主題による検索をする [Majr]
- ・キーワードを増やす
- ・絞り込み検索(Filters, Publication Type)

···etc

⇒検索ノイズを少なく、精度重視な検索

(適合率は高いが再現率は低くなる)

··· etc

5. 問題演習

- 1. MeSHについて
- 2. MeSHの探し方
- 3. EBMの流れの中の文献検索 (MeSHを使った検索)
- 4. 検索式の立て方(まとめ)
- 5. 問題演習

事前演習課題

自分でどのように考えて、 どのような手順で検索を実行したかを 解説とともに確認してみてください。



事前演習課題(1)

・膵癌を疑った場合、腹部超音波(US)は 診断法として推奨されるか?

事前演習課題(2)

・LMTの灌流障害を伴う急性大動脈解離に対し、 外科手術に先行してカテーテル治療を行う ことは有効か。

当日演習課題

当日演習課題を提示しますので、 実際にPubMedで検索してみましょう。



演習課題での達成目標

- ① MeSH (又は英語のKW) を探す
- ② ①を使って検索式を考える
 - ※演習では上記を行うことを目標とします。 後日復習の際には、調査等も含めて演習する ことをお勧めします。

(1) 検索の流れ

前のスライドで学習した流れ を意識してみると、取り組み やすいかもしれません。

- ア) 疑問の内容を理解し、検索方針を立てる
- イ) PICOを利用して疑問を整理する

疑問を整理するとき に役立ちます!

- ウ) キーワードをMeSHに置き換える
- 工)検索を実施し、結果を評価する

ここが達成目標!

オ) 検索語/検索式の再考・絞り込み条件等の検討

当日演習課題(1)

・非浸潤性乳管癌に対する非切除は 勧められるか?

当日演習課題(2)

・青汁が肝機能障害の原因となるか。

当日演習課題(3)

・卵をたべることによって心筋梗塞の リスクは上がるか?

当日演習課題(4)

・胆道癌肝転移に対する肝切除は、 肝切除を行わない場合に比べて 推奨されるか?

参考資料

- Medical Subject Headings (MeSH®) in MEDLINE®/PubMed®: A Tutorial https://www.nlm.nih.gov/bsd/disted/meshtutorial/introduction/index.htm
- TSD / Cataloging and Metadata Management: Using Medical Subject Headings (MeSH®) in Cataloging https://www.nlm.nih.gov/tsd/cataloging/trainingcourses/mesh/intro_010.html
- 医中誌Web 索引情報 (インデクシング)
 https://www.jamas.or.jp/database/sakuin.html
- 大崎泉、成田ナツキ、図解PubMedの使い方:インターネットで医学文献を探す。 第8版、 日本医学図書館協会、2022.

第6回 JMLA 学術集会 運営担当

JMLA 学術集会ワーキンググループ

白土裕子 (NP0 医学中央雑誌刊行会)

廣瀬瑛子(北里大学白金図書館)

根本萌(北海道大学附属図書館)

教育·研究委員会 JMLA 学術集会担当

菊地元子 (国立病院機構文献情報センター)

JMLA 中央事務局

宇佐見由美

教育·研究委員会担当理事

加藤砂織 (東京女子医科大学図書館)

第6回 JMLA 学術集会プログラム・抄録

2022年12月9日発行 All Rights Reserved

編集 特定非営利活動法人 日本医学図書館協会

JMLA 学術集会ワーキンググループ

発行 特定非営利活動法人 日本医学図書館協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10 和田ビル 3階

TEL. 03-5577-4509